



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第24号 (2023.10.6)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。

本号では職員3名が出席した国際自殺予防学会 (IASP) の国際大会の現地レポートをお届けします。現地での発表の雰囲気に加え、JSCP 代表理事の清水康之、分析官の新井崇弘が受賞した表彰式、武見敬三厚生労働大臣への受賞報告の模様もお伝えします。そのほか、地域連携を推進するための全国会議開催や自治体職員向けゲートキーパー研修教材の公開、清水と文化人類学者・上田紀行氏 (東工大副学長) の対談記事等、JSCP 独自のコンテンツについてもご紹介いたします。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しております。今後メールの受信をご希望されない方は、大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きをお願いいたします。

<ニュースレター第24号トピックス>

1. 【国際連携】第32回 国際自殺予防学会 (IASP) 現地レポート公開
2. 【国際連携】代表理事の清水康之、分析官の新井崇弘が武見敬三厚生労働大臣を表敬訪問、IASP 賞受賞を報告
3. 【地域連携】3省庁と合同での連絡会議を開催
4. 【地域連携】「ゲートキーパー」に関する自治体職員向け e-ラーニング教材を公開
5. 【記事公開】文化人類学者・上田紀行×自殺対策実務家・清水康之 自殺・いじめ問題の根っこにあるもの
6. 【記事公開】「死にたい気持ち、話したっていいんだ」自殺対策動画コンテスト 学生たちが同世代に届けたいメッセージ
7. 【レポート公開】令和5年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 かかりつけ医版」
8. 【関連情報】日本自殺総合対策学会が2023年秋季講演会を開催

1. 【国際連携】第32回 国際自殺予防学会 (IASP) 現地レポート公開

国際自殺予防学会 (International Association for Suicide Prevention, IASP) の第32回 国際大会が、2023年9月19日から23日にスロベニアにて開催されました。世界各国から自殺対策に携わる研究者、実務家などが参加し、口頭発表、ポスター発表を含む、計700以上の発表が行われました。JSCPからは3名が出席し、調査研究推進部・分析官の新井崇弘と、子ども・若者自殺対策室・分析官の田辺季実子が発表を行いました。

また、大会初日のウェルカムディナーにおいて各IASP賞の授賞式があり、新井がアンドレイ・マルシッチ (Andrej Marušič) 賞



会場となったGrand Hotel Bernardin
コンベンションセンター

を受賞しました。この賞は、スロベニア出身の精神科医であるアンドレイ・マルシッチ氏を記念して作られ、自殺関連行動とその予防に関する研究を行う若手研究者に贈られる賞です。最終日の閉会式では、清水がリンゲル賞を受賞し、JSCP から2人目の受賞が報告されました。リンゲル賞はエビデンスに基づいた自殺予防プログラムやプロジェクトの開発と実施に10年間以上携わってきた実務家に贈られる賞で、IASPの初代会長であるエルヴィン・リンゲル教授を称え、1995年から続く、大変名誉ある賞です。1997年には「いのちの電話」の創設者である斎藤友紀雄氏もこの賞を受賞しており、日本人で歴代2人目の受賞となりました。

■現地での発表の様子など、レポートの詳細は[こちら](#)からご覧ください。

2. 【国際連携】代表理事の清水康之、分析官の新井崇弘が武見敬三厚生労働大臣を表敬訪問、IASP 賞受賞について報告

2023年10月5日（木）、JSCP 代表理事の清水康之と分析官の新井崇弘が、武見敬三厚生労働大臣を表敬訪問し、IASP からリンゲル賞、アンドレイ・マルシッチ賞を贈られたことを報告しました。



受賞の盾を披露し受賞を報告した代表理事の清水康之（左）と分析官の新井崇弘（右）

武見大臣からは「(受賞は)素晴らしいことだと思う。その上で、JSCP には自殺対策のさらなる充実・強化のため、ぜひ頑張ってほしい」「データサイエンスは今後の時代の基盤になる。デジタル化の時代の自殺対策を徹底して設計・実行してほしい」と、激励の言葉をいただきました。清水は「日本の自殺対策のこれまでの歩みに贈られた賞だと受け止めている。一方で、日本の自殺対策はまだ十分と言える状況ではなく、今後への叱咤激励だと思っている」と話しました。新井は、「今回の受賞は、日本の若手研究者への期待の表れだと受け止めている」とコメントしました。

3. 【地域連携】3省庁と合同での連絡会議を開催

JSCP は2023年9月22日（金）、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省とともに「令和5年度第2回全国自殺対策主管課長等会議・全国児童福祉主管課長会議・地域自殺対策推進センター連絡会議」を開催しました。当日は、都道府県・政令指定都市の自殺対策主管課、地域自殺対策推進センター、児童福祉主管課、教育委員会など、こどもの自殺対策に関わる様々な部局の関係者など約270名が参加。下記の議題について、それぞれの担当省庁より情報共有がなされました。

- こども家庭庁：『こどもの自殺対策緊急強化プラン』及び令和6年度予算概算要求におけるこどもの自殺対策関連予算の状況について」
- 文部科学省：「令和6年度予算概算要求における児童生徒の自殺対策関連予算及び自殺予防週間の取組について」
- 厚生労働省・JSCP：「こども・若者の自殺危機対応チームについて」

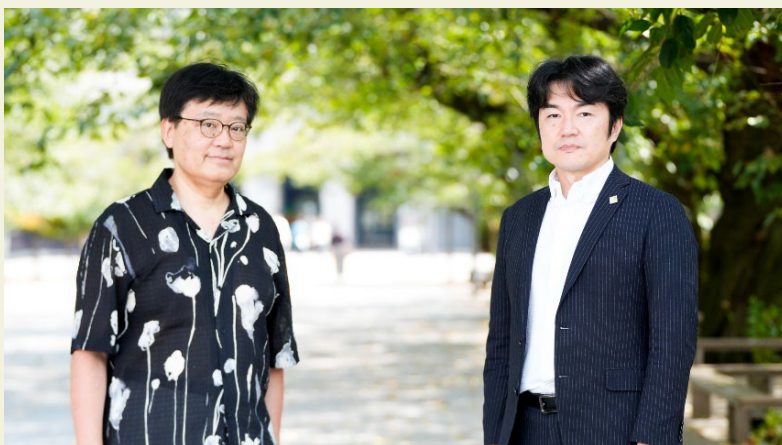
4. 【地域連携】「ゲートキーパー」に関する自治体職員向け e-ラーニング教材を公開

JSCP は 2023 年 9 月 19 日（火）に、全国自治体職員を対象とした「ゲートキーパー」に関する e-ラーニング教材を作成・公開しました。自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤独・孤立」を防ぎ、必要な支援につなげることが重要です。1 人でも多くの方に、このような役割を担う「ゲートキーパー」としての意識を持っていただき、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることから行動を起こしていただけるよう、動画を通じて学習できるようになっています。各自治体で庁内関係部署等の職員を対象にゲートキーパー研修等を実施される際には、ぜひ本教材をご活用ください。また、本研修教材は自治体職員を対象に作成されたものですが、ゲートキーパーについてご関心のある一般の方にもご覧いただけるよう、JSCP の公式 YouTube チャンネルでも一般公開しています。

■詳しい内容は[こちら](#)からご覧ください。

5. 【記事公開】文化人類学者・上田紀行×自殺対策実務家・清水康之 自殺・いじめ問題の根っこにあるもの

<JSCP 対談企画 第 2 弾> 子どもや若者の自殺は近年増加傾向にあり、2022 年の小中高生の自殺者数は過去最多の 514 人となるなど深刻な状況です。若い世代が「生きられない」社会——。問題の「根っこ」には何があるのでしょうか？ 解決のために必要なこととは？ そして、少しでも明日が「生きやすくなる」ためのヒントとは？ 文化人類学者で東京工業大学「いじめゼロ！プロジェクト」代表を務める上田紀行東工大副学長と、JSCP 代表理事の清水が語り合いました。



■記事は、[こちら](#)からお読みいただけます

■<過去の JSCP 対談企画> 第 1 弾「小説家・平野啓一郎さん×自殺対策実務家・清水康之さん 生きづらさの核心と『生きやすくなる』ヒント」は、[こちら](#)から

6. 【記事公開】「死にたい気持ち、話したっていいんだ」 自殺対策動画コンテスト 学生たちが同世代に届けたいメッセージ



秀賞に選ばれた、齋藤真衣子さん（左上）、木下望有さん（右上）、愛純百葉さん（左下）、山下真愛さん・下出遥華さん（右下）

JSCP は今年度初めて、学生を対象とした「いのち支える動画コンテスト 2023」を開催し、自殺予防週間（9 月 10～16 日）に合わせて優秀賞 4 作品を公開しました。コンテストの目的

は、子ども・若者の自殺が深刻化する中で、若い世代に自殺問題を「自分ごと」化してもらい、大人目線ではなく若者目線のメッセージを届けることです。受賞者たちに、動画に込めた思いや、動画を制作する前後での気持ちの変化などについて聞きました。

■記事は[こちら](#)からお読みいただけます

7. 【レポート公開】令和5年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 かかりつけ医版」

JSCP は 2023 年 9 月 3 日（日）、令和 5 年度 自殺未遂者ケア研修「第 1 回 かかりつけ医版」をオンラインで開催しました。本研修は、保険医療機関での業務に従事する医師、歯科医師を対象とし、約 250 名が参加しました。

■レポートは[こちら](#)からご覧ください



河西千秋氏（左上）、大塚耕太郎氏（右上）、大内衆衛（左下）、清水康之（右下）

8. 【関連情報】日本自殺総合対策学会が 2023 年秋季講演会を開催

日本自殺総合対策学会は 2023 年 10 月 4 日（水）、「2023 年秋季講演会～地域の仕組みづくりとこどもの自殺対策～」をオンラインで開催しました。JSCP は本講演会を厚生労働省とともに後援し、学会員など約 60 名が参加しました。

椿広計理事長の進行のもと、まず高知県のいの町の自殺対策の取り組みについて、保健師の山本景子氏と下川優子氏から実践報告がありました。人口 2 万人余り、年間の自殺者数が一桁の町で、多機関が連携し、ひきこもり支援などこれまでの地域保健活動に自殺対策を重ねてきたネットワークづくりの紹介は、多くの自治体にとって参考になる内容でした。

続いて信州大学医学部周産期のこころの医学講座の立花良之特任教授により、「子どもの自殺防止対策について」の講演が行われました。精神科医療の最前線の議論、東京都渋谷区・世田谷区・目黒区での取り組み、「包括的な子どもの自殺防止対策（COMPASS）」について中身の濃い説明が行われました。限られた時間ながら、子どもの自殺対策における家庭・養育環境を含めた支援等についても活発な質疑が交わされました。



（左から）高知県のいの町保健師の山本景子氏と下川優子氏、信州大学医学部特任教授の立花良之氏

■日本自殺総合対策学会については、こちらの[Web サイト](#)をご覧ください。

■YouTube の「JSCP_広報室」チャンネルで、啓発動画や、研修動画等を順次公開中。 ぜひご登録ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュース個人で、JSCP として自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP 広報官・山寺が執筆）。ぜひご覧ください。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderakaoru>

今後も、JSCP をどうぞよろしくお願い致します。

配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

--

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp